修士課程・大学院授業科目の履修方法等について
【２０２３年度以降入学者用】

１．課程修了の要件となる単位数

学生は、次のとおり３０単位以上を修得しなければならない。

(1)　必須コアカリキュラム　８単位以上（「スタートアップ倫理学」２単位を含む。）

(2)　所属するコース内の科目　１８単位以上

うち、基礎編　２単位以上

応用編　２単位以上

修士研究　１４単位

(3)　所属するコース外の選択科目　４単位以上

うち、基礎編　２単位以上

応用編　２単位以上

なお、九州大学大学院基幹教育科目及び他の学府の授業科目は年次を問わず履修することができ、４単位までを限度として、課程修了の要件となる単位として含めることができる。

２．履修方法等

(1) 履修する授業科目は、毎学期の始めに、指導教員の助言により選定し、その授業科目を担当する教員の承認を得たうえで「履修願」により届け出なければならない。

(2) 昼夜開講制に伴う教育方法の特例を受ける学生が、夜間の授業時間帯に授業科目を履修する場合は、あらかじめ指導教員及び履修を希望する授業科目の担当教員と相談しなければならない。

(3) 同一授業科目の重複履修は、認められない。同一授業科目を重複履修した場合は、最初に履修した科目以外は無効となる。

３．授業科目の単位数

各授業科目の単位数については、講義及び演習は１５時間をもって１単位、実験及び実習は３０時間をもって１単位を基準とする。

４．インターネットによる授業

E-learningと記載されている授業は、Web上で講義及び試験等の全てを行う。そのため、受講希望者は、インターネットに接続できる環境及び電子メールを送受信できる環境を各々で確保する必要がある。

５．履修指導、研究指導及び学位請求手続きに関するスケジュール

所定の年限（標準修業年限２年）で修了するための履修指導、研究指導および学位請求に関してのスケジュールは以下の通りである。

① １年次の春学期２週間以内に、主指導教員予定者に対し、副指導教員２名を含む３名の指導グループの編成を依頼し、その結果を持って歯学府教務委員会に指導教員願を提出する。
② １年次の春学期開始２週間以内に、主指導教員の指導のもとに授業科目履修計画を作成して、歯学学生係に履修願を提出する。
③ 主指導教員の指導のもとに研究計画を立案し、その概要をＡ４・１枚（1,000 字程度）にまとめ、１年次の夏学期終了時までに指導グループに提出する。
④ 研究計画の概要について、指導グループの助言・承認を受け、研究計画に従って研究を遂行する。研究計画に大きな変更が生じた場合には、指導グループと十分に協議する。
⑤ １年次終了時には、研究の進捗状況の概要をＡ４・１枚（1,000 字程度）にまとめ、教務委員会に提出する。教務委員会で精査の上、歯学府教授会で承認を受け、必要に応じて助言を得る。
⑥ ２年次秋学期終了時までに、研究成果を主指導教員の指導のもと修士論文としてまとめる。
⑦ 作成した修士論文の内容は、指導グループにおいて論文の査読および修正等の指示を受ける。
⑧ 必要書類と修士論文を用意し、教務委員会で資格要件を審査する。
⑨ 歯学府教授会は資格要件を満たしている場合は、学位申請を受理する。
⑩ 大学院歯学府を組織する講座等に属する専任の教授を含め、歯学府教員３名（主査１名・副査２名）で審査委員会を編成する。必要と認めるときは、他の国内外の大学の大学院等の教員等を審査委員として更に加えることができる。主査は大学院歯学府を組織する講座等に属する専任の教授の中から定める。ただし、指導教員および副指導教員は審査委員になることができない。
⑪ 論文は修士論文発表会において公開で発表する。
⑫ 最終試験は、修士論文および関連する科目について、修士論文発表会を開催し、口頭試問により行う。
⑬ 審査委員会の論文審査と最終試験を経て歯学府教授会の審査に合格した者は、修士課程を修了するとともに、修士の学位を取得できる。

九州大学大学院歯学府口腔科学専攻修士課程教育課程表【2023年度以降入学者用】

区　分	授業科目	配当年次	学期	講義その他	単位数
必須コアカリキュラム	歯学概論	１年	前期	講義	2
	歯科臨床概論	１年	前期	講義	2
	口腔生物学	１年	前期	講義	2
	口腔病態学	１年	前期	講義	2
	スタートアップ倫理学	１年	前期	講義	2
高度専門医療人養成コース	（基礎編）				
	小児口腔医科学（基礎編）	１年	後期	講義・演習	2
	矯正歯科学（基礎編）	１年	後期	講義・演習	2
	歯科保存学（基礎編）	１年	後期	講義・演習	2
	歯周病学（基礎編）	１年	後期	講義・演習	2
	クラウンブリッジ補綴学（基礎編）	１年	後期	講義・演習	2
	インプラント・義歯補綴学（基礎編）	１年	後期	講義・演習	2
	口腔画像情報科学（基礎編）	１年	後期	講義・演習	2
	顎顔面腫瘍制御学（基礎編）	１年	後期	講義・演習	2
	口腔顎顔面外科学（基礎編）	１年	後期	講義・演習	2
	歯科麻酔学（基礎編）	１年	後期	講義・演習	2
	高齢者歯科学（基礎編）	１年	後期	講義・演習	2
	総合診療歯科学（基礎編）	１年	後期	講義・演習	2
	（応用編）				
	小児口腔医科学（応用編）	２年	前期	講義・演習	2
	矯正歯科学（応用編）	２年	前期	講義・演習	2
	歯科保存学（応用編）	２年	前期	講義・演習	2
	歯周病学（応用編）	２年	前期	講義・演習	2
	クラウンブリッジ補綴学（応用編）	２年	前期	講義・演習	2
	インプラント・義歯補綴学（応用編）	２年	前期	講義・演習	2
	口腔画像情報科学（応用編）	２年	前期	講義・演習	2
	顎顔面腫瘍制御学（応用編）	２年	前期	講義・演習	2
	口腔顎顔面外科学（応用編）	２年	前期	講義・演習	2
	歯科麻酔学（応用編）	２年	前期	講義・演習	2
	高齢者歯科学（応用編）	２年	前期	講義・演習	2
	総合診療歯科学（応用編）	２年	前期	講義・演習	2
	修士研究	１～２年		実験・実習	１４
医療行政・教育機関指導者養成コース	（基礎編）				
	口腔予防医学（基礎編）	１年	後期	講義・演習	2
	歯科医学教育学（基礎編）	１年	後期	講義・演習	2
	（応用編）				
	口腔予防医学（応用編）	２年	前期	講義・演習	2
	歯科医学教育学（応用編）	２年	前期	講義・演習	2
	修士研究	１～２年		実験・実習	１４

医療技術開発者養成コース	（基礎編） 生体材料学（基礎編）	１年	後期	講義・演習	2
	（応用編） 生体材料学（応用編）	２年	前期	講義・演習	2
	修士研究	１～２年		実験・実習	１４
基礎医学研究者養成コース	（基礎編） 分子口腔解剖学（基礎編） 口腔細胞工学（基礎編） 口腔機能解析学（基礎編） 口腔機能分子科学（基礎編） 口腔病理学（基礎編） 口腔脳機能病態学（基礎編）	 １年 １年 １年 １年 １年 １年	 後期 後期 後期 後期 後期 後期	 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習	 2 2 2 2 2 2
	（応用編） 分子口腔解剖学（応用編） 口腔細胞工学（応用編） 口腔機能解析学（応用編） 口腔機能分子科学（応用編） 口腔病理学（応用編） 口腔脳機能病態学（応用編）	 ２年 ２年 ２年 ２年 ２年 ２年	 前期 前期 前期 前期 前期 前期	 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習	 2 2 2 2 2 2
	修士研究	１～２年		実験・実習	１４

※その他、論文作成に必要な種々な指導が各指導教員より行われる。その内容・方法、時期等については、個々の学生に個別に通知する。

※授業内容についてはシラバスにより確認すること。